

縄文時代草創期の石器が大量出土！

おおこうち

大河内遺跡 (勝田郡勝央町黒土)

大河内遺跡は岡山県の北東部、津山盆地の東端にあり、調査地は滝川の北岸に位置しています。平成17・18年度に発掘調査を実施したところ、弥生時代～中世の集落が見つかったほか、今から約13,000～10,000年前の縄文時代草創期の石器類が数多く出土しました。

出土した石器には^{せんとうき}尖頭器・^{せきあ}石斧・^{せきぞく}石鎌・スクレイパーなどがあり、ほかに石器を製作する時に出た石くずが多数見られました。石斧の一つは^{み こしぼがた}神子柴型石斧（写真左端、全長17cm、重さ470g）と呼ばれ、県内での出土例も少なく珍しいものです。さらに、^{ゆうけい}神子柴型石斧と同じく草創期を特徴づける有茎尖頭器は10点以上が出土しており、岡山県内はもとより中国・四国地方においても有数の出土数を誇ります。また、多数の石器や石くずが出土したことは、この付近で石器製作が行われていたことを示しており、当時の人々の活動した^{こんせき}痕跡が確認されたことも注目されます。（石田爲成）



鳥取自動車道関連発掘調査

平成18年度は^{あな さこ}穴が途遺跡・^{やわたやまみなみ}八幡山南遺跡・^{おさき}尾崎遺跡の調査を実施しました。穴が途遺跡と八幡山南遺跡は主に弥生時代、尾崎遺跡は縄文時代～近世までの長期にわたる遺跡です。調査は12月末に終了し、3年間に及ぶ中国横断自動車道姫路鳥取線（鳥取自動車道）関連の発掘調査はほぼ終了しました。

^{あな さこ}穴が途遺跡 —平地から40mの高台に住んだ弥生人—

穴が途古墳が所在した丘陵尾根上にあった弥生時代中期～後期のムラの跡です。

調査の結果、多くの^{たてあな}竪穴住居が尾根筋や斜面で確認されました。その中に、火を受けて焼け落ちた^た竪穴住居がありました。内部に溜まった炭や焼け土を取り除くと、屋根材の丸太や屋根に葺いていたイネ科植物が炭化した束や、完全に復元できる土器が見つかりました。また、周辺の穴からは、埋納されたような状態で、類例がない珍しい円筒形の土器も出土しました。



調査遺跡の位置（5万分の1）
国土地理院発行5万分の1地形図「佐用」を複製・改変



合わせ口の甕棺（南から）



緑釉陰刻花文椀

遺物では、^{えんめんけん}円面硯（円形のすずり）や^{かもん}花文を彫り込んだ^{りよくゆう わん}緑釉の椀など、一般の集落ではほとんど出土しないものもありました。これらのことから、尾崎遺跡に古代の役所があった可能性が高まっています。

鎌倉時代の遺構としては、大形建物が今年度新たに2棟検出され、中世には大きな村があったようです。室町時代になると、遺跡の北の丘陵に^{おほらさんのうさんじょう}小原山王山城が築かれます。丘陵の南すそは階段状に整形され、各段に建物が置かれていました。戦国時代に小原山王山城は^{たけやまじょう}廃城となり、竹山城へ移ります。



北端部、小原山王山城南すその建物群（北東から）正面中央に竹山城を望む



調査風景（北から）



焼失した竪穴住居（西から）



珍しい土器（南東から）

^{おさき}尾崎遺跡 —古代の役所・中世の村—

後山川北岸の河岸段丘上に位置し、平成17年度に道路用地東側の側道部分を、平成18年度に用地西側の本線部分を300mにわたって調査しました。その結果、縄文～江戸時代の遺構・遺物が見つかり、人々が古くから住み続けていたことがわかりました。



北端部の奈良時代建物（上空から）

出土した縄文時代の遺物としては、後期～晩期の土器が出土しましたが、旧大原町内で最古となる縄文時代草創期（約13,000～10,000年前）の^{みこしばがたせきふ}神子柴型石斧が見つかり注目されます。

また、弥生～古墳時代にかけての竪穴住居が、遺跡の北端と南端で6軒確認され、北端の丘陵斜面からも1軒見つかりました。

今年度の成果で特に重要なのは、奈良・平安時代の遺構・遺物です。これらは、調査区の北部に集中していました。逆L字形に配置された建物群や、一辺1mほどの方形の柱穴からなる大形建物が見つかりました。周辺では被熱面が数多く検出され、多量の製塩土器が出土しています。また、二つの^{かめ}甕の口を合わせた棺が3基見つかりました。

^{やわたやまみなみ}八幡山南遺跡 —尾根筋250mにわたって続く弥生大集落—

吉野川流域の平野に面した低い丘の尾根筋一帯に営まれた弥生時代のムラの跡です。

出土した弥生土器の特徴から、このムラは、弥生時代中期～末期の約300年間続いたことがわかりました。今回の鳥取自動車道関連発掘調査で見つかった弥生ムラの中では、最も長く営まれたムラと言えます。

建て替えが行われている竪穴住居が5軒、複雑に重なって等高線に平行するように長い帯状になった段状遺構が約60面確認されました。最も残りのよい竪穴住居は、直径6～7mの円形で、6本柱をもち、細長い中央穴を挟んで小さな浅い穴がありました。出土品には、^{せきぞく いしほうちょう}石鎌・石包丁（イネの穂摘具）・^{ほつみぐ}石斧・^{せきふ}環状石斧（用途不明）など石の道具も多く、しかもそれらの未製品や石くずが多く見つかることから、このムラの中で種々の石器製作が行われていたことがわかりました。



竪穴住居（南西から）

（福田正継・岡本寛久）



全景（上空から）

きのじょう
①鬼ノ城 総社市奥坂

7か年計画で国指定史跡「鬼城山」の城内調査を開始しました。

今年度の調査では、掘立柱建物を構成する複数の柱穴と、それを区画する石列を確認しました。また、尾根の斜面で見つかった土器溜まりでは、7世紀後半～8世紀初頭の須恵器・土師器が多く出土し、鬼ノ城の築城・存続年代や生活の様子を解き明かすための資料となりました。



土器溜まりの調査



出土した円面硯

中でも、円面硯は城内に文字を使う官人がいたことを示唆し、城の性格を考える上で注目されます。その他、用途ははっきりしませんが、火を焚いた跡が残る多数の土壙も見つかりました。(尾崎光徳)

くぼき
②窪木遺跡 総社市窪木

窪木遺跡では、古墳時代後期の集落を中心に発掘調査を行いました。過去の調査成果を併せると、東西幅約140mに及ぶ集落域を確認し、その集落内には、25軒の竪穴住居と17棟の掘立柱建物が、約150年間途切れることなく建てられたと考えられます。

左下の写真は、今年度調査した中で最も残りの良い竪穴住居です。一辺が約5mの方形を呈し、4本の柱穴から構成されています。北壁中央にはカマドが取り付け、甕などを下から支える支柱として使用された土師器の高杯が、逆さの状態で見つかりました。出土した土器から、5世紀末ごろの住居であることがわかります。(松尾佳子)



5世紀末ごろの竪穴住居



北壁中央に取り付いたカマド
(右側の袖部は後世の小穴で破壊されています。支柱として高杯を使用)



みまさかこくふ
③美作国府跡 津山市山北

美作国府跡の発掘調査では、奈良～鎌倉時代の建物・井戸・溝・柱穴などの遺構や土師器・須恵器・勝間田焼・中国製の陶磁器などの遺物がまともに見つかりました。特に、国府に関連する建物や、当時の役人が身につけたと思われる大刀の柄頭部分の発見は注目されます。

また、平安時代終わりごろの多くの椀や皿が出土した井戸は、古代の祭祀や儀式を考える上で興味深い資料です。

このほか、弥生時代中期～後期の竪穴住居・墓なども確認され、国府が造られるよりもはるか昔の人々の生活を知る上で重要な成果が得られました。(澤山孝之)



大刀の柄頭
(長さ6.96cm)



大きな方形の柱穴からなる建物



多くの椀や皿が出土した井戸

かじや
④鍛冶屋D遺跡 岡山市瀬戸町鍛冶屋

鍛冶屋D遺跡では、縄文～古墳時代の集落跡の調査を行い、竪穴住居や掘立柱建物、溝、川などが見つかりました。このうち、竪穴住居1軒と掘立柱建物1棟が調査区のはほぼ中央部で見つかり、これらの時期は弥生時代中期(約2,200年前)であることがわかりました。この竪穴住居には、壁や床面は残っていませんでしたが、中央には炭と灰が詰まった炉があり、周囲には住居を取り囲むような溝が見つかりました。この近くを流れる川からは、大量の弥生土器が出土しています。さらにその下層から見つかった縄文時代の川の中からは、多くの土器や植物の種とともに、漆塗りの竪櫛が出土しました。櫛歯の部分は失われていましたが、保存状態は良好で、黒漆の地に赤漆が施されています。縄文時代のものとしては、県内では2例目となる貴重な発見です。(河合 忍)



発見された弥生集落



弥生時代の川の調査



縄文時代晩期の竪櫛

センターの活動から

考古学入門講座 —この足下に歴史がある—

回	開催日	参加者	内容
1	5.19(金)	15名	講義：考古学ってなに？
	5.21(日)	28名	実習：土器の復元
2	7.23(日)	51名	講義：住まいのはなし 実習：沼弥生住居見学 石器で切る・削る
	10.15(日)	42名	講義：米づくりのはなし 実習：石包丁で稲刈り 脱穀・こも編み
4	2.17(土)	24名	講義：弥生時代のまつり
	2.18(日)	34名	実習：分銅形土製品をつくらう

*第2回は津山弥生の里文化財センター、他は当センターで開催。



みんなで協力してこも編み！（第3回）



分銅形土製品をつくったよ！（第4回）

現地説明会

現地説明会			
開催日	遺跡名	開催地	参加者
6.17(土)	下坂遺跡	美作市位田	188名
7.29(土)	美作国府跡	津山市山北	170名
10.14(土)	大河内遺跡	勝央町黒土	350名
12.9(土)	窪木遺跡	総社市窪木	110名
2.24(土)	美作国府跡	津山市山北	180名
3.4(日)	国長遺跡	岡山市高島新屋敷	150名
鬼ノ城城内調査大公開			
回	開催日	参加者	
1	8.7(月)～8.12(土)	194名	
2	10.16(月)～10.22(日)	298名	
3	12.4(月)～12.15(金)	308名	



窪木遺跡現地説明会の様子

発掘調査報告会



左上：「美作・勝央発掘ものがたり」ポスター (10/28・29, 勝央文化ホール)

左：「美作・大原昔絵巻」ポスター (11/11・12, 大原公民館)

上：「高島のむかし」ポスター (11/18～20, 高島公民館)

大地からの便り 2006

県内の発掘調査報告会	
〈報告会・展示〉	8月26日(土) 岡山県立美術館・200名 *詳細は「所報古備」第41号参照
Part2 - 東備地域の古墳と備前焼の世界 -	
〈報告会〉	11月25日(土) 備前市市民センター・60名
○報告遺跡	
①前内池古墳群 (赤磐市)	当センター
②才地古墳群 (和気町)	当センター
③平岩古墳 (赤磐市)	当センター
④伊部南大塚跡 (備前市)	備前市教育委員会
〈展示会〉	11月21日(火)～26日(日) 備前市歴史民俗資料館・234名
○展示遺跡	
上記報告遺跡のほか、慶運寺跡(赤磐市)、山崎古窯跡・不老山東口窯跡(備前市)など	

見学・職場体験学習



本物を触ったよ！

何が出土するかな？



Part2「報告会」の様子

種	参加行事・学校名
小学校	(センター見学)岡山市立馬屋下・彦崎・七区・第二藤田・桃丘・陵南・高島・平津・備前市立日生西 (発掘現場見学・体験)岡山市立旭竜・高島・総社市立阿曾・津山市立高田・美作市立江見 (出前講座)岡山市立吉備 計15校
中学校	(2年生職場体験)県立岡山操山・岡山市立旭東・足守・竜操・吉備・高島・中山・操南・高松・石井・御南・倉敷市立庄・福田・美作市立大原(1年生総合学習等)県立岡山操山・岡山市立高島・高松 計17校
高校	(進路学習等)県立岡山大安寺・倉敷青陵・笠岡・作陽・金光学園(発掘現場見学)金光学園 計6校
大学	(インターンシップ)岡山大・岡山理科大・ノートルダム清心女子大 計3校

センター収蔵品紹介 vol.4 —百間川原尾島遺跡出土の人形—

この人形は、木の薄板を切り欠いて人を模した木製品で、百間川原尾島遺跡の平安時代初めごろの大溝から4点が出土しました。写真の2点は完全なもので、それぞれ17.8cmと26.7cmの長さです。

人の身代わりである人形は全能で、のろいや病気の治療に用いられることもありましたが、主な使われ方は「ひと撫一吻」と言われるように、人形の体を撫で、息を吹いて穢を移し、川などに祓い流すというものでした。また、3月の節句の流し雛にもつながり、現在の雛祭りの原形の一つでもあります。

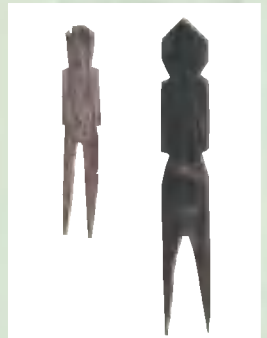
百間川原尾島遺跡の人形は、いっしょに出土した齋串・刀形などの木製品、鎌・刀子などの金属製品と合わせ、大祓に用いられた道具の一部と考えられます。

大祓とは、人々の犯した罪や過ち、心身の穢を祓い除いて清浄にするため、都や諸国の国府で行われた

国家的行事です。毎年6月と12月のみそか祓いを恒例とし、天皇即位や天下の疫病・災害に際しても臨時に行われました。7世紀後半の天武期に成立し、701年の『大宝令』で正式な年中行事とされ、その具体的な内容は、10世紀に編まれた『延喜式』にも規定されています。

大祓の祭場は祓所と呼ばれ、都や国府に通じる路上に設けられました。百間川原尾島遺跡の祓所や道路は不明ですが、北方の備前国府への路上に祓所が設けられ、穢を移した人形などをかたわらの大溝に祓い流したのだと考えられます。

出土した人形



大溝から出土した大祓の道具

平成18年度各課事業一覧

〈試掘調査・確認調査・発掘調査〉

課	遺跡名 (所在地)	調査原因	種別	遺跡の内容・成果	調査期間 調査面積
調査第一課	原尾島遺跡 (岡山市原尾島)	県営原尾島住宅建替え	確認	中世～弥生時代の水田層を検出。百間川原尾島遺跡と同様の遺構の存在が考えられる。	5. 8 8㎡
	倉ヶ市遺跡ほか (岡山市上土田ほか)	一般県道総社足守線 公共特定交通安全施設等 整備事業	試掘	延寿寺跡から西側4か所にトレンチ。中世を中心とする包含層・柱穴・溝を確認。中世の集落・水田。	5.15～ 5.29 43㎡
	※遺跡名未定 (新見市哲西町矢田奥ノ谷)	河川総合開発事業 (大谷川生活貯水池)	確認	3か所にトレンチ。遺構・包含層は確認できず。	6.26～ 7. 6 24㎡
	作山古墳 (総社市三須)	自然環境整備交付金事業	確認	前方部墳丘南側に築造時の下がりを確認。堆積土下部に円筒・朝顔形埴輪が出土。	8.21～ 8.25 12㎡
	特別名勝岡山後楽園 (岡山市後楽園)	特別名勝岡山後楽園史跡等 保存整備事業	確認	後楽園花交の池の樋門・木樋の調査。築造時の木樋を確認。樋門部は後世に改修。	1.17～ 2.19 15㎡
	才楽遺跡ほか (倉敷市日畑ほか)	一般県道吉備津松島線道路 改築	確認	11か所にトレンチ。一部で弥生時代の遺物包含層と微高地を確認。	2. 1～ 2.26 92㎡
	鬼城山 (総社市奥坂)	城内の確認・整備・活用	確認	飛鳥時代の古代山城。掘立柱建物の柱穴・石列・被熱土墳等を検出。城の実態解明に迫る円面硯出土。	7. 1～12.31 1,350㎡
調査第二課	窪木遺跡ほか (総社市窪木ほか)	一般国道180号総社・一宮 バイパス建設	全面	弥生時代中期～中世の集落。特に窪木遺跡の古墳時代後期の住居・建物などが顕著。	7. 1～ 3.31 3,690㎡
	中島城跡ほか (岡山市中島ほか)	都市計画道路竹田升田線 街路改築	全面	中島城跡を中心に存在する中島村の調査。溝で区画された屋敷からは掘立柱建物の柱穴・井戸等を検出。	4. 1～ 3.31 5,910㎡
	下坂遺跡 (美作市位田)	一般国道374号(美作岡山 道路)道路改築	全面	古墳時代後期の製鉄炉3基と製炭窯1基の調査。製鉄炉斜面から大量の鉄滓に混じり、鉄鉱石が出土。	4. 1～ 7.14 2,250㎡
調査第三課	大河内遺跡 (勝田郡勝央町黒土)	都市計画道路大谷一宮線 街路改築	全面	縄文時代草創期の有茎尖頭器をはじめとする石器が大量に出土。中には神子柴型石斧が含まれる。	7. 5～10.31 2,396㎡
	美作国府跡 (津山市山北ほか)	県立岡山病院第Ⅲ期整備 事業	全面	古代の掘立柱建物や井戸、弥生時代の竪穴住居や土壇墓、須恵器・土師器などの遺物を多数検出。	4. 1～ 3.31 4,300㎡
	鹿田遺跡 (岡山市鹿田本町)	主要地方道佐伯長船線 (美作岡山道路)地方特定 道路整備事業	全面	古代末～中世の井戸・溝・柱穴などを検出。「鹿田庄」の歴史を考察するための貴重な成果。	4. 1～ 6.30 1,060㎡
	鍛冶屋D遺跡 (岡山市瀬戸町鍛冶屋)	主要地方道岡山吉井線 (美作岡山道路)道路改築	全面	縄文時代晩期の河道から土器・石器・漆塗豎櫛、弥生時代中期の竪穴住居、溝、土器を検出。	11. 1～ 3.31 5,055㎡
	二本木遺跡 (和気郡和気町宇生)	中国横断自動車道姫路鳥取 線(鳥取自動車道)建設	全面	溝・土壇を検出。時期については出土遺物がなく詳細は不明。	11.20～11.30 400㎡
尾崎遺跡ほか (美作市古町ほか)	尾崎遺跡ほか	全面	丘陵上に形成された弥生集落と土器・石器、古代・中世の掘立柱建物群と緑釉陶器、製塩土器を検出。	4. 1～12.31 7,640㎡	

〈報告書作成・刊行〉

課	作成(遺跡名)	刊行報告書(遺跡名)
調査第一課	津島遺跡、鬼城山、窪木遺跡ほか	総社遺跡・金井戸遺跡・北溝手遺跡、津島遺跡
調査第二課	下坂遺跡・大河内遺跡、百間川原尾島遺跡ほか	中町B遺跡、下町陣屋跡、百間川兼基遺跡、沢田遺跡
調査第三課	鍛冶屋D遺跡、塩納森井先遺跡、鹿田遺跡、尾崎遺跡ほか	津島遺跡、鹿田遺跡、塩納森井先遺跡

〈その他〉

課	内 容
調査第一課	出土品等の展示・貸出、ホームページ作成、メールマガジン配信、考古学入門講座、大地からの便り・同Part2、「所報吉備」刊行、鬼ノ城城内調査大公開・少年少女教室、窪木遺跡現地説明会、その他普及啓発・広報業務、収蔵管理など
調査第二課	下坂遺跡・大河内遺跡・国長遺跡各現地説明会、発掘調査報告会「美作・勝央ものがたり」・「高島のむかし」
調査第三課	美作国府跡現地説明会、発掘調査報告会「美作・大原昔絵巻」



編集・発行

岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-0136 岡山市西花尻1325-3

TEL (086) 293-3211 FAX (086) 293-0142

<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm>

●交通案内 ●JR山陽本線庭瀬駅下車徒歩40分・車10分
●JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分・車5分

●業務時間 AM 8:30～PM 5:15

●休業日 土・日曜日及び祝日、年末・年始

●展示室の開館 AM 9:00～PM 5:00
年末・年始を除き、土・日・祝日も開館しています。
ただし、臨時に休館することがあります。

なくしていこう、差別・偏見・いじめ